

厚沢部町農業の概要



農林商工課

厚沢部町の概要（令和元年10月末）

- 面積 460.58km²
- 人口 3,814人
- 高齢化率 41.6%
- 世帯数 1,814世帯
- 学校数 小学校 3、中学校 1
- 病院 国保病院 1、歯科 1



厚沢部町農業の概要

- 主な生産品目 水稲 ばれいしょ など
(472ha) (400ha)
- 年間農産物販売額 約30億円 (H30：JA実績)
※ H29は約32億円
- 農家戸数 230戸 (H31)
- 認定農業者数 177戸 (H30年度末)

主な生産品目 (H30実績)

品目	作付面積 (ha)	収穫量 (t)
水稲	472.4	29,905
ばれいしょ	399.6	8,389
大豆 (黒・白)	468.3	10,988
小麦	599.9	15,917
小豆	72.8	2,784
かぼちゃ	126.0	1,291
大根	75.0	2,843



町の施策及び予算（平成30年度決算 単位：千円）

区分	決算額	主な施策
農業振興費	101,347	中山間地域等直接支払交付金 農業生産安定化特別対策事業（共済掛金助成） 地力増進対策事業（堆肥購入助成） 小規模土地基盤整備補助（暗渠・明渠）
畜産業費	148	公営牧場管理経費
土地改良費	116,265	農地耕作条件改善事業（基盤整備） 農道整備（砂利敷・購入支援） 多面的機能支払交付金
農業活性化センター運営費	13,261	土壌分析、試験研究
農業後継者育成対策事業	3,998	新規就農・後継就農奨励金 農業次世代人材投資補助金（青年就農給付金）

農業基盤整備の取組状況

●農地整備事業（中山間地域型）滝野地区

事業主体：北海道 事業期間：平成30年度～令和6年度
受益面積：110.9ha 総事業費：8億8900万円

●農地中間管理機構関連農地整備事業（稲見地区）

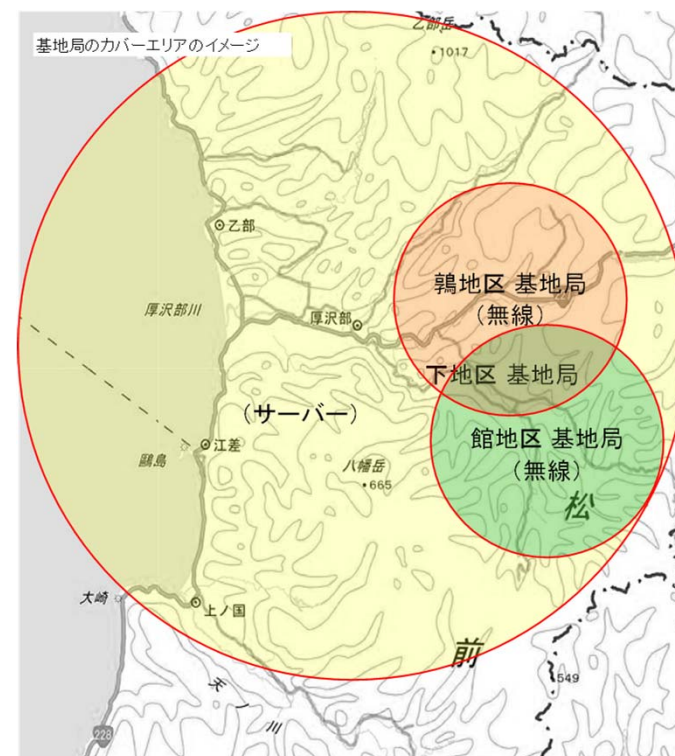
事業主体：北海道 事業期間：平成30年度～令和6年度
受益面積：44.1ha 総事業費：7億3000万円

●農地耕作条件改善事業（暗渠排水整備＋ソフト事業）

事業主体：厚沢部町 事業期間：平成30年度～令和2年度
受益面積：21.0ha 総事業費：1億0800万円

スマート農業の取り組み

- 平成29年度 RTK-GPS基地局設置
- 平成30年度 GPSガイダンス導入支援





厚沢部町

当路地区環境保全会

当路地区の活動開始まで

○当路地域について

- ・現在人口100人ほどの集落で、そのほとんどが稲作を主体とした専業農家で構成されている。
- ・草刈り、泥上げなど施設の維持管理や花壇づくりなど自費で行ってきた。

○現状の課題

- ・農業者の高齢化が進み、後継者も不足している。
- ・地域住民の高齢化も進んでいる。
- ・離農等で担い手農業者の経営面積が増加しており、農地や施設周りの管理が手薄になっている。

○将来の課題

- ・人口減少により農業や地域の担い手が不足。
- ・地域コミュニティが希薄化しつつあり、集落機能が著しく低下するおそれ。

このままでは、農業だけでなく当路地域の将来が...

当路地区環境保全会の活動開始

○地域の農地や農業用施設を保全する活動に交付金が支給される『多面的機能支払制度』について、役場より説明があった。



○当路地区の課題を解決するため、地域内で話し合いを重ね、『多面的機能支払制度』の活用を検討。



○当路地域の課題に、地域全体で取り組むこととし、平成26年度より共同活動開始を決定。

当面の間、農地や施設まわりの管理を中心に行うこととし、『農地維持支払』に関する活動を開始。

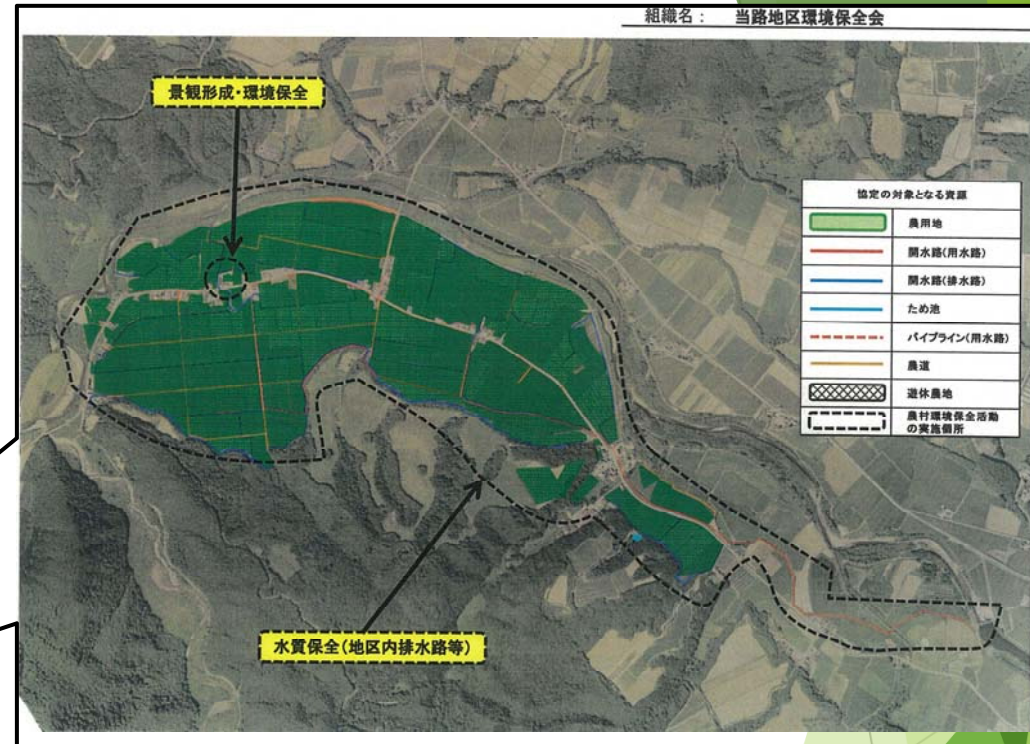
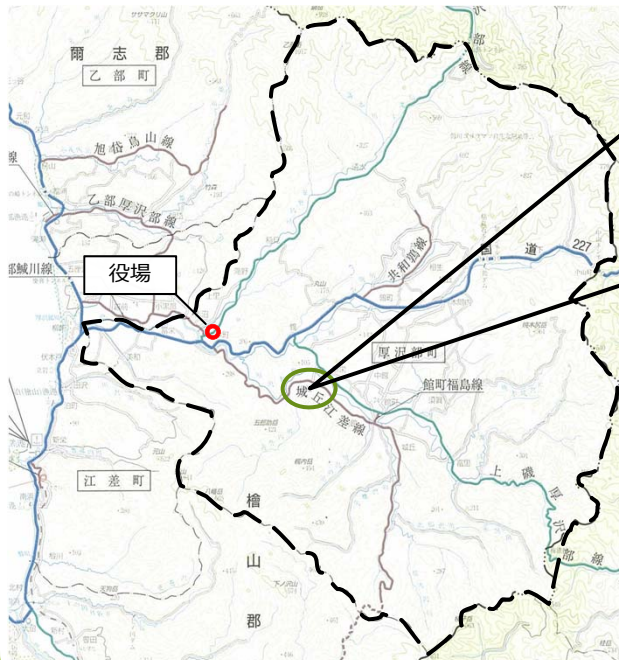


○農地維持活動が軌道に乗ったことから、地域コミュニティの回復をめざして、平成29年度より『資源向上支払』に関する共同活動を開始。

当路地区環境保全会

(構成員)

農業者21名、農業者以外1名、
団体2団体 (老人クラブ、鹿子舞保存会)



(農用地) 田11,694a、畑2,513a
 (施設) 用水路11.0km、排水路13.1km、農道7.4km、
 ため池1箇所
 (R1交付額) 農地維持 2,940,920円、資源向上(共同)2,365,872円
 合計 5,306,792円

春の点検、見回り（4月実施）



役員や構成員が農地周り・施設の点検、巡回、機能診断を実施している。
平成30年度は1回実施し15名が参加した。

法面の草刈り（4月～9月実施）



役員が実施時期を決め、構成員が一堂に会し施設周りの草刈りを実施。
平成30年度は9回実施し延べ152名が参加し適切に管理をしている。

農道の砂利敷き、水路の泥上げ (8月実施)



外注作業で農業者の負担を軽減。
施設を適切に管理している。

景観形成 施設等の清掃（4月実施）



当路老人クラブによる空き缶拾いを実施している。
平成30年度は1回実施し13名が参加し、景観の保全・向上が図られた。

景観形成 植栽（6月実施）



当路老人クラブによる花壇整備を実施している。
平成30年度は11名が参加し、景観の保全・向上が図られた。

農村文化の伝承 鹿子舞（ししまい）



豊作祈願や祭礼などで演じられてきた厚沢部町の鹿子舞は「風流獅子舞」と呼ばれ、「三匹獅子舞」という呼び方も一般的です。
当路に伝わる鹿子舞は、中腰踊りで激しい動きが特徴です。

※厚沢部町ホームページより抜粋

当路鹿子舞保存会と連携して、農村文化伝承活動に取り組んでいる。
厚沢部町新年鹿子舞交流会などに参加することで、農村コミュニティの強化につながっている。

当路地区のこれから

○取組の効果

- ・地域で集まる機会や交流する場が増加し、地区内の交流が活発になった。
- ・農業用施設の補修などが容易になり、適切な管理が可能となった。
- ・町内会や老人クラブなど各団体間の交流も活発になった。
- ・鹿子舞保存会と連携することで、世代間の交流も増加した。

○今後の目標

- ・地域住民が中心となり、農地など地域資源の保全管理に取り組んでいく。
- ・町内会や老人クラブと連携し、地域の美化活動に取り組んでいく。
- ・鹿子舞保存会と連携し、農村文化伝承活動に取り組んでいく。

○将来への課題

- ・役員負担軽減。
- ・事務処理の負担軽減。

持続可能な当路地区をめざして取組を継続